

ほっかいどうしんかんせん
「北海道新幹線で行く」

福島県会津若松市の旅」受付中!!

8月1日から募集を開始した、福島県会津若松市（親善交流都市）への町民参加型ツアーは、現在、申込み受付中です。

申込み方法や、事業内容についてご不明な点がございましたら、町企画政策課までお問い合わせください。

実施日：平成**29**年**11**月**10**日（金）～**12**日（日）

主な訪問先：鶴ヶ城、飯盛山、白井農園（りんご「緋の衣」栽培農園）

問合せ 企画政策課 ☎ 21-2117

～ ゆかりのまちを訪ねて～

味覚の祭典に出展予定。「日本一の柿」～ 奈良県五條市（交流都市）



五條市は、市内西吉野町を中心に広大な果樹園が広がる、全国有数の柿の産地です。西吉野町における柿生産の歴史は大正末期まで遡ります。この頃、「換金樹木作物」として畑地への植え付けが開始され、それと同時に耕地を果樹畑に転換し、開墾も進められたそうです。その後、適地の造成を行い、さらには全国一の柿の産地を目指して農地開発事業が行われたことで、それまで開墾が困難とされていた荒れ山や急峻地も開発され、一大果樹産地が誕生しました。

現在、西吉野町で生産されている柿は「富有（ふゆう）」「平核無（ひらたねなし）」「刀根早生（とねわせ）」という種類で、中でも生産量の多い「富有柿」は昭和初期頃に普及し始めました。

柿は実はもちろん、材木や染料としても昔から活用されてきましたが、濃い緑の葉にも殺菌効果があるとされており、「柿の葉寿司」は地域の伝統的な食べ物として愛されています。また近年では、葉に含まれるビタミンCなどの成分により、美肌・美白といった美容面の効果も期待されています。

西吉野町には柿の形を模した「柿博物館」があり、柿の歴史や食べ方、使われ方など、柿に関する様々な情報を、楽しみながら知ることができます。

来たる9月24日（日）に開催予定の「第33回味覚の祭典『よいち大好きフェスティバル』」で、五條市からも出展を予定しており、特産の柿を販売することになっています。

この機会にぜひ日本一の五條市の柿をご賞味ください。

問合せ 企画政策課 ☎ 21-2117

新ALT（外国語指導助手）を紹介します！

現在、本町では2名のALTが活躍していますが、平成26年から勤務していたオーウェン・セーラさんと平成27年から勤務していたマックリーン・マーガレットさんが任期満了により退職されたため、代わって、新しく2名の方が来町されました！

ベイトルーリン・クレアさん（キキ）



クレアさんは、現在23歳でイングランドのロンドン出身で、本年7月にシェフィールド大学を卒業しました。

大学では日本学を専攻し、在学中に岡山大学への留学経験があります。国際文化に興味があり、趣味は写真、料理、ライブ鑑賞、旅行など多様な趣味を持っています。

日本では様々な地方に赴き、風土や名物を味わってみたいそうです。また和太鼓にも挑戦してみたいそうです。

チャンド・ソニアさん（ソニア）



ソニアさんは、現在24歳で本町の姉妹都市である、スコットランドのイースト・ダンバートンシャイア出身で、昨年、スターリング大学を卒業しました。

大学では政治学と英文学を専攻し、日本の文学にも大変興味があり、日本の小説を好んで読むそうです。

サルサダンスや旅行が趣味で、日本各地の神社に行ってみたいそうです。

また書道にも挑戦してみたいそうです。

2人とも町民のみなさんと交流することを大変楽しみにしています。

クレアさんはキキ（ニックネーム）、ソニアさんはソニアと呼ばれています。町内で見かけた方はどうぞ声をかけてあげてください。学校での授業はもちろん、国際交流等での活躍も期待してください。

問合せ 学校教育課 学校教育グループ ☎ 21-2138